

# 大地はなごやかに

(大正十四年開舎二十周年記念寮歌)

黒沢徹君 作歌

三溝清美君 作曲

## 一

大地はなごやかにうるほひて  
丘陵の傾斜の若草や  
さゆらぐ楡の嫩葉にも  
春新生の精気は溢る  
原始林の緑に流れ来る  
嗚呼青春の讃歌

## 二

色紫の彩絹に  
染めて溶けたる朝霧の  
悠久の蒼穹はるかにも  
濃き水色にうつろへば  
白鳥高く海に飛び  
入江の波に夏陽は映ゆる

## 三

連嶺紅に黄昏れて  
夕靄流る水沼の  
白き葦穂波に顫ふ月  
幽暗の草野に訪づれば  
仄かに響く胸うちの高遠き  
感激に逍遙ふ哉

## 四

神秘の森林に群星さえて  
雪の曠野遠く静謐なり  
銀壺にゆるる灯に  
崇き教訓を胸にして  
心の憧憬郷にまどゐする  
若き人等の哀歓よ

## 五

陽炎ゆらぐ春の日に  
落葉しぐる秋の夜に  
胸に高鳴る青春の  
若き誇りを歌ひつつ  
限れる生の瞬時を  
深き瞑想到過ぎずや